

《ピースあいち夏の企画展》

少女たちの戦争

青春のすべてが
戦争だった――



©おざわゆき／講談社

1945年8月15日。女学生としてその日を迎えた世代は、1931年の満州事変の頃に生まれました。15年戦争とも呼ばれた戦火の年月に、人生の歩みを丸ごとのみこまれたのです。戦争が激しさを増すにつれて学校教育は変質し、少女たちは銃後の働き手として、危険な軍需工場へと動員されていきました。「日本はどうなってしまうの?」「一体何のため?」――そんな疑いさえ抱かず、青春の夢を奪われ命までも奪われた少女たち。その時、「ここ名古屋ではどんなことが起きていたのでしょうか。第1部では、名古屋大空襲を描いたマンガ『あとかたの街』、第2部では学園史などをもとに、戦争に組み込まれてゆく愛知の女学生たちの姿をたどります。



(左) 空襲で大破した金城学園の栄光館(目で見える金城学院の100年史より) (中、右) 勤労動員の女学生たち(ピースあいち所蔵)



2021年 7月13日(火)～9月25日(土)

開館時間 ● 11:00～16:00 (最終日は15:00まで)

休館日 ● 日曜日・月曜日

入館料 ● 大人 300円 小中高生 100円 協力：講談社／BE・LOVE

[博物館相当施設]

戦争と平和の資料館 **ピースあいち**

〒465-0091 名古屋市名東区よもぎ台 2-820
TEL&FAX 052-602-4222

市バス・地下鉄でのおでかけが便利でお得です!

ドニチエコきっぷ・一日乗車券を利用してご来館の方は、割引!

[大人] 300円→250円 [小中高生] 100円→80円

※「ドニチエコきっぷ」「一日乗車券」は、ゆとりーとライン(高架区間)、名鉄バス、あおなみ線、リニモでは利用できません。



ご利用開始後の有効期限内のドニチエコきっぷ等の一日乗車券を提示するだけで、名古屋市内の施設・飲食店等で割引等の特典が受けられます! ※詳細は地下鉄駅で配布している特典ガイドブック「なごや得ナビ」をご覧ください。

(管理 ～ 8/15)

《ピースあいち夏の企画展》

少女たちの戦争

「青春のすべてが戦争だった」

2021年 7月13日(火)～9月25日(土)
開館時間 ● 11時～16時(最終日は15時まで)

〈展示内容〉

● 第1部 12歳の少女がみた戦争 ―

・おざわゆき「あとかたの街」(講談社BE・LOVEコミック全5巻から選んだ15場面)
・戦時下の少女の暮らし
失われてゆく夢／お国のために／困りごと

● 第2部 愛知の女学生たち

・戦時下の学校制度

・女子教育の目的は良妻賢母

「お国のために」(銃後を守る)／英語は禁止された／制服がスカートからモンペになった／空襲の中で行われた卒業式／証言など

・少女たちの勤労働員

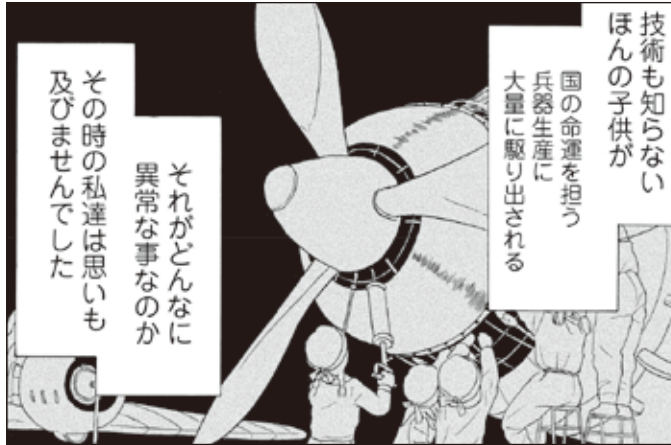
不足する労働力として、子どもと女性が動員された／女子学徒の仕事―軍需品の生産・市電の車掌／東南海地震と学徒動員／熱田空襲と学徒動員／豊川海軍工廠と学徒動員／証言など

・学校に爆弾が落ちた日

名古屋市立第三高等女学校(現旭丘高校)／愛知県立第一高等女学校(現明和高校)／金城女子専門学校(現金城学院高等学校)

・現代の若者たちの活動

金城学院中学校・高等学校／東邦高等学校／相山女学園中学校・高等学校／同朋高等学校／愛知県高校生フェスティバル



©おざわゆき／講談社

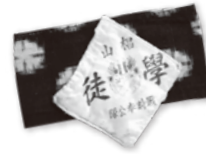
マンガ「あとかたの街」
著者／おざわゆき

太平洋戦争末期1944(昭和19)年からの名古屋を舞台に、主人公の木村あい(12歳・国民学校高等科1年生)の目を通して描かれた名古屋大空襲。母親の戦争体験を元にフィクションで描かれています。

物語は、空襲が本格化する前の春から始まります。次第に戦争に巻き込まれていく中で必死に生きようとするあいや家族、友達や町の人々の姿、戦時下の名古屋の景色や人々の息遣いが蘇ります。



▲体操の時間に木銃訓練をする女学生
(目で見える金城学院の100年史より)



◀相山・学徒動員の腕章
(相山女学園歴史文化館所蔵)

夏の戦争体験の語り、語り継ぎシリーズ

ピースあいち語り手の会会員、語り継ぎボランティアによるお話。
8月上旬に予定しています。日時・テーマなどはピースあいちHPでご確認ください。

ピースあいちの常設展

- 第1展示 愛知県下の空襲 …… 愛知県下にも空襲があった。多くの家が焼かれ、多くの人が死んだ。
- 第2展示 戦争の全体像・15年戦争 …… 戦争はなぜ起きたか。
- 第3展示 戦時下の暮らし …… お父さんやお兄さんが兵隊に征った。食べ物や着るものがなくなった。自由にもが言えなくなった。
- 第4展示 現代の戦争と平和 …… 今も戦争はなくなっていない。だが、平和を求めて多くの人ががんばっている。
- 「命の壁」戦争は命の破壊。どうか目をそらさないでください。 ● 準常設展示 戦争と動物たち ―



[博物館相当施設]
戦争と平和の資料館

ピースあいち

- 開館時間 11:00～16:00
- 休館日 日曜、月曜、年末年始ほか
- 入館料 大人300円 小中高生100円

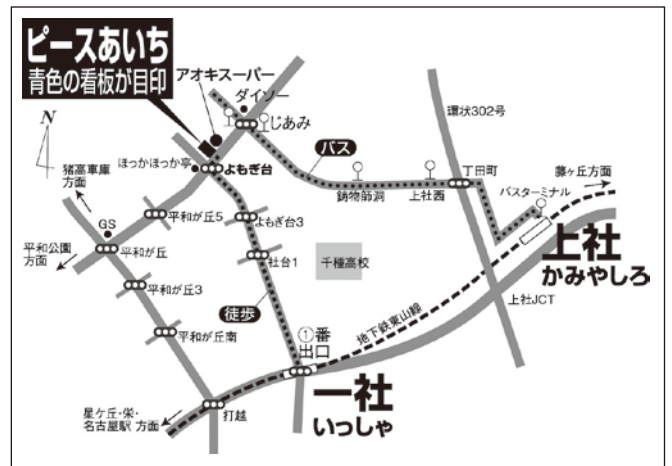
〒465-0091名古屋市長区東区よもぎ台2-820

TEL&FAX 052-602-4222

<https://peace-aichi.com/>



- ▶ 地下鉄東山線「一社」①出口から北へ徒歩12分
- ▶ 地下鉄東山線「上社」から市バス上社11系統「じあみ」下車、西へ徒歩3分
- ▶ 駐車場(有料(300円)2台)(障がい者用無料1台)



新型コロナウイルス感染拡大等による状況によっては、臨時休館または展示内容等の変更があります。電話やHP・ツイッターでご確認ください。